

■福島町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告（平成30年2月15日現在）

整理番号	18	議員名	平沼 昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	<p>【松前半島道路の整備促進に向けた取り組み及び松前町との路網整備について】</p> <p>松前半島道路が必要だという住んでいる方々の思いを内外に示すのは、やはり各町の首長だと思う。アピールするために看板など何らかの手法や広報に掲載するなどの活動が必要と感じているが如何か。</p> <p>緊急時に対応した松前町と福島町の間の新たな路網整備について、今はルートが2本ある。松浦～白神間は松前町と協議して道道への昇格を要望しているが、今現在、緊急時に対応できる道路となっているのか。</p>				
取り組み状況	<p>平成29年12月25日に、石山松前町長と国土交通省北海道局柳谷大臣官房審議官を訪問し、今後の事業の進め方及び要望のあり方等について意見交換を行った。</p> <p>松前半島道路の中でも特に危険な、松前福島間を防災事業で優先的に実施することの可能性についても協議し、早期実現に向けた具体的な意見交換を実施したところです。</p>				

整理番号	21	議員名	平沼 昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	<p>【高齢者福祉関連事業を一つにまとめ展開を理解しやすくする検討を】</p> <p>高齢者福祉に関連した様々な予算、事業がある中で四季を通じて見守る組織作りがこれから我々の町としてもっとも必要なことと考えます。</p> <p>内容はそれぞれあるが、考え方の根幹は同じだと思う、四季を通して高齢者がどういう状況でどうしてもらいたいのか、情報をいち早く得ることと、特に冬期間に町内の事業者、次世代を担う若い方々の雇用の場の創出を考え、組織編成し、意見を聞きながら高齢者に向けたサポート事業の展開をなされた方が良いと思うが町長のお考えを伺いたい。</p>				
取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・除排雪制度の周知（町、社協事業） 町広報12月号に記事掲載、1月号配布時に周知チラシを配布 2月号に記事掲載 ・申込件数 屋根雪下し 5件（H28 1件） 除排雪費用 18件（H28 12件） 社協ボランティア 0件（H28 2件） <p>昨年よりも降雪が多いことから、引き続き社協と協力しながら、高齢者の冬期間の除排雪に対する不安を解消することとした。</p>				

整理番号	22	議員名	平沼 昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	<p>【定住・移住促進に向けた考え方について】</p> <p>町長は1回目の答弁の中で定住促進なり水産業、農林業それぞれに奨励金を出して、それなりの成果を得ている、また、出産祝金を始めてからは第3子以降の出生数が増加傾向にあり、人口減少の緩和を見ていることから一定の成果は上がっているという判断の下でまだ検証はしていないということですが、総合計画の後期実施計画策定までに制度の検証をしていきたいという考えでよろしいですか。</p>				
取り組み状況	<p>定住・移住施策の検証については、これまで当該制度を活用した方からの意見等の把握が必要と考えておりますので、アンケート内容や実施方法等についても検討を進めております。</p>				

整理番号	23	議員名	川村 明雄	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	<p>【定住促進住宅等奨励事業費（平成28年度福島町一般会計歳入歳出決算認定について）】</p> <p>同制度での中古住宅購入は500万円以上でなければ該当にならないが、福島町の現状は500万を超える取引が年に1件あるかないかであり、ほとんどが500万以下。若い人は100万円以下で取引し、リフォームして住み、リフォーム代の方が取得費よりも莫大に高いという現状があることから、中古住宅取得の下限については100万円以下まで対象とし、助成額も固定額ではなく購入価格の10パーセントとしたほうが有効と考える。また、リフォーム代他に、不動産取得税、固定資産税等、住宅取得後の費用もあることから、現状を十分分析し、福島町の現状にあった定住対策を進めて頂きたいと思うが町長の考えは。</p>				
取り組み状況	<p>定住促進住宅等奨励事業の検証については、庁内における資料等で把握が可能な範囲において調査を進めておりますが、物件の異動等については把握できるものの、取引価格の把握までは困難ですので、実態把握の方法等について引き続き検討を進めてまいります。</p>				